

日本の高等教育改革 政策ビジョンを発表

5月20日、私のオフィシャルウェブサイトで、日本の高等教育改革に関する新たな政策ビジョン「日本の高等教育改革」…少子化の荒波と「知の総和」の再構築」を公表しました。

今、日本は人口減少による労働力不足と、AI革命による産業・雇用構造の変化という二重の圧力に直面しています。社会の基盤そのものが問われるこの状況は、まさに「静かなる有事」です。

2040年には大学進学者数が約3割減少すると予測されています。問われているのは大学という制度を維持することではなく、日本全体の「知の総和」をいかに維持し、次世代へつないでいくかです。

私は教育改革を単なる文教政策ではなく、日本の成長を支える最重要の国家戦略と位置づけ、その実現に向けた5つの改革方針を提案しました。

◆政策ビジョンの5つの柱

1. 大学再編…「量」から「質」への転換
私立大学の約半数が定員割れとなる中、大学数の維持を前提とした支援から、教育研究の質を重視した再編・統合へと転換すべきです。オンライン教育や大学間連携を活用して地域の学びを確保しながら、限られた資源を成長分野へ重点的に投資することを提案しています。

2. STEAM教育…正解を超える学びへ

AI時代に必要な「自ら問いを立て、課題を解決する力」を育むため、文理を問わず全ての学生がAIなどの基礎リテラシーを身につけるSTEAM教育を推進し、知識暗記型から課題解決型・探究型の教育へ転換すべきです。

3. 公立高校改革…地域とつながる学びへ

画一的な大学進学モデルから脱却し、地域の産業や文化と連携した特色ある教育を推進します。高校を地域課題解決の「実験場」とし、「N-E・X・T・ハイスクール構想」による文理横断型の探究学習を通じて総合知を育むことを提案しています。

4. マイスター制度…大学だけが選択肢ではない社会へ

「良い大学への進学が唯一の成功」という価値観を見直し、AIに代替されにくい高度な技能を持つ職人や技術者を正當に評価する社会を目指します。ドイツをモデルとした「日本版マイスター資格」を創設し、大学の学位と同等の社会的評価を与えることで、多様なキャリアモデルの定着を提案しています。

5. リスキリングと地方創生…全世代の学び直し拠点へ

大学を「18歳のための場所」とどめず、現役世代の賃金向上や企

山本左近の政策ビジョンはこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

業のDXを支えるリスキリング拠点として機能強化することを提案しています。また、地方の国立大学を核に、高校や専門学校、マイスター型機関が連携する地域の「教育生態系」を構築し、若者の地元定着と地方創生につなげることを目指します。

《正解を覚える教育から、価値を創り出す教育へ》

日本の将来の成長力は「労働量×人材力」で決まります。人口減少が進む中、一人ひとりの能力を最大限に引き出し、生産性を高めていくことが社会の活力を維持する鍵となります。

そのため、大学改革、公立高校改革、STEAM教育、マイスター制度、リスキリングの推進を一体的に進め、教育システム全体の再構築を目指します。

教育改革は単なる将来への投資ではなく、日本の成長と持続可能性を支える国家基盤の整備です。

2040年以降を生きる若者たちが、自らの才能と可能性によって未来を切り拓ける社会の実現に向け、今後も真正面から取り組んでまいります。

衆議院議員

山本左近

やまもと・さこん



愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧24歳、当時日本人最年少F1ドライバードビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙(比例代表)に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙(東海ブロック比例代表)に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語スペイン語を話すマルチリンガル。

2035年18歳人口は再び急落する。改革の残り時間はたった10年。

少子化とAI革命が同時に進むこの時代、教育制度は大きな転換点を迎えている。「静かなる有事」と位置づけ、5つの改革を通じて「知の総和」を高める教育改革を実現する。

10 YEARS
改革のウィンドウはたった10年しかない。

山本左近 衆議院議員
教育改革政策ビジョン

02 危機の実態 「静かなる有事」が迫っている

人口減少とAI革命という二重の圧力が同時に押し寄せる。2035年、18歳人口は再び急落する。対応できるウィンドウは今は少ない。

72.7万人 2023年出生数 過去最少を更新	▼30% 大学進学者の減少 63万→46万(2040年)	437万人 事務職の余剰予測 AI普及による置き換え
--------------------------------------	---	---

2040年 労働市場のミスマッチ

事務職(余剰) ▲437万人 過剰	AI・デジタル専門人材(不足) ▼数百万人 不足	医療・福祉人材(不足) ▼数百万人 不足
-------------------	--------------------------	----------------------

03 改革の柱 5つの改革の柱

01 大学再編 質を守るための合理的決断	02 STEAM教育 国民のデジタル基礎教養へ	03 公立高校改革 地域ニーズに応じた特色ある学び	04 マイスター制度 大学だけが選択肢ではない社会へ	05 リスキリングと地方創生 全世代の学び直し拠点へ
-----------------------------------	--------------------------------------	--	---	---

教育の「車の両輪」ならぬ「三輪」を同時に動かし、多様な才能が輝く教育立国へ。

参考：文部科学省・中央教育審議会等(19年11-3年) SAKON POLICY VISION #001 3

04 改革の柱 01・02

01 大学の戦略的再編 質を守るための合理的決断

- 私立大学600校の約半数が定員割れ
- 耐久区分の可視化で早期撤退を支援
- 廃止・統合は「敗北」でなく「継承」
- 新設認可の厳格化で質を担保

02 STEAM教育のさらなる推進 国民のデジタル基礎教養へ

- 理工系定員を約2万人増・全体の5割へ
- 文系も数理・AI・データサイエンス必修
- 数学必須化を難関私大から全体へ拡大
- 全学生がSTEAM基礎を学ぶ環境整備(Univ-mapの活用)

05 改革の柱 03 公立高校の多様化 地域ニーズに応じた特色ある学び

農林水産地域 農業・林業・漁業 × デジタル技術	伝統工芸・製造業地域 技術継承 × イノベーション	都市・テック地域 AI・データサイエンス × 起業・社会課題解決
------------------------------------	-------------------------------------	--

N-E.X.T.ハイスクール構想
文理横断の探究学習を100%の普通科高校で実施。高校が地域課題解決の「実験場」として機能する。

06 改革の柱 04 日本版マイスター制度の確立 大学だけが選択肢ではない社会へ

制度の骨格

- 特定技能分野で国が認定する資格を創設
- 大学の学位と同等の社会的評価を付与
- 専門高校・専門学校が育成の柱を担う
- 地域の中小企業・職人との連携実習
- AIに代替されない高度技能を社会が尊重

対象分野(例)

- 建築・建設施工
- 調理・食文化
- 農業・一次産業
- 伝統工芸・デザイン
- ITインフラ・保守運用

07 改革の柱 05 リスキリングと地方創生 全世代・全地域の学び直し

- 一都三県 ホワイトカラー110万人の学び直し
- 中小企業336万社のDX化を大学が支援
- 国立大学を核とした地域推進プラットフォーム
- 大学・高校・マイスター機関の連携連携
- 若者が地元で学び、働き、付加価値を創出

現在の人文社会科学進学割合
東京：75%

08 目指す社会のかたち 多様な才能が輝く教育立国へ

STEAM全学化 知の底上げ

高校多様化 地域の力

マイスター制 多様な才能

= 知の総和

「2040年を生きる若者たちが、自分の才能と情熱で輝ける場所を選べる社会」
大学進学・マイスター・地域での探究—どの道を選んでも誇れる、多様な才能が多様な形で開花する教育立国を目指す。

改革の残り時間は「あと10年あるのではなく、たった10年しかない」

正解を覚える
教育から、

価値を創り出す
教育へ

開会中も土日は、地元で活動しています。気軽にイベントなどにお声かけください！



生まれ育った豊橋・牛川地区にてミニ集会を開催！お越しいただいた皆様とじっくりと意見交換。外交・安全保障から地域の身近な課題まで、お一人お一人の想いや問題意識を伺うことができ、大変有意義な時間となりました。皆様の暮らしと国益を守るために、いただいた声をしっかりと国政につなげてまいります！
今後も皆様の声を伺うミニ集会を積極的に開催してまいりますので、是非ご参加ください！

第3回ヴィンテージカーフェスティバルが、とよはし産業人材育成センターにて開催され、出席させていただきました。会場には地元をはじめ、全国から素晴らしい名車の数々が集まっていました。地元から自動車文化振興のきっかけをさらに応援してまいります！

衆議院議員・鈴木貴子自民党広報本部長と共に、レベル2++の自動運転車に乗車しました。その様子は、こちらから是非ご覧ください。



JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ

是非あなたのお力を貸してください

山本左近の政治活動を支えるサポーターを募集しています。地元の未来を共に作る仲間として、ぜひあなたのお力をお貸しください。また、ポスターを屋内外に掲示いただけの方がいらっしゃいましたら、事務所までご連絡ください。

討議資料